

# 平成26年度 東三河地域産業人材育成事業（概要版）

## 【事業概要】

- 東三河地域における地域活性化の担い手となる産業人材の育成を目的として、「地域資源を活用した起業支援」、「長期的インターンシップ」を対象とした活動を昨年度に引き続き実施。
- 上記活動を通じて、地域で起業を促し、既存企業を新たなステージへ転換させ、イノベーションを促進する中心的担い手となる「地域コーディネーター」を育成する。
- 「地域資源を活用した起業支援」は、地域の活性化、地元志向、定着の観点から地域に根差す人材の育成・確保に向け、地域への就職活動の支援を実施。起業支援では起業のスタートから事業拡大・再構築まで、起業の各段階・過程に沿って、必要な知識と技術の獲得に向け、継続性を維持できる道筋を示すプログラムを用意し研修効果を追求する。農業支援講座では、生産から流通・販売までの一連の流れから各段階の持つ役割を理解、農業生産者から農業経営者になることの必要性について理解を深め、6次産業化実践講座ではより現場に近く、実践的の経営力を伴った起業・事業化へ繋がるプログラムとする。
- 「長期的インターンシップ」は、東三河地域の4大学（豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学、愛知工科大学）のキャリアセンターと連携・協力して参加学生を募集し、インターンシップ受入企業は東三河広域経済連合会、東三河産業創出協議会等と連携し、インターンシップ受入実績や東三河優良企業就職情報等を活用し、個別訪問等で発掘。インターンシップ人材育成の目的として「実社会や職業との繋がりを理解できる人材」、「論理的思考や課題解決能力を身につけた人材」の育成を掲げ、前者は東三河地域の学生が地域企業を知ってもらう機会（1日研修）や地域企業による職業体験（実地研修）を実施し、後者では地域の企業経営者との意見交換会を行う等、独自プログラムを構築。
- 東三河地域の次世代を担う高校生、大学生による地域活性化意見交換会の実施 等

## 【主な事業協力要請機関】

- |          |   |
|----------|---|
| (経済団体)   | 東三河広域経済連合会、東三河産業創出協議会、豊橋・豊川・蒲郡商工会議所等  |
| (地域金融機関) | 豊橋信用金庫、蒲郡信用金庫、岡崎信用金庫等   |
| (大学)     | 豊橋技術科学大学 総務課地域連携係・学生課、愛知大学 豊橋キャリア支援課、豊橋創造大学 渉外部キャリアセンター・教務課、愛知工科大学 キャリア支援課等 |
| (地方自治体)  | 東三河地域の8市町村、愛知県  |

## 【地域資源を活用した起業支援】

### ◆就職応援セミナー

- 目的 未内定・未就職の学生を対象として、東三河地域の地域特性の認識を深め、自身の能力を見直し、地元企業の動向を知ることにより、最適な職場選択が出来、地域への定着化を図ることを目指す。
- 実施概要 6回の座学・グループワークを平成26年5月24日～7月12日の期間で実施。
- テーマ ①東三河で就活を始める前に、②就活の手引き、③自己分析メソッド1、④自分分析メソッド2、⑤グループ面接対策・模擬面接、⑥東三河で就職するには（東三河企業との座談会）

### <起業支援3講座>

#### ◆起業スタートアップ講座

- 目的 起業を考えている人を対象に起業に関する基礎知識や心得、創業時のポイントや実例から創業計画書の作成方法を学び、地域やコミュニティの問題を踏まえ、社会起業の視点で起業について考える。
- 実施概要 6回の座学・演習等を平成26年6月3日～8月12日の期間で実施。
- テーマ ①事業のカたち、②起業家・社会起業家とは、③創業計画の基本と心構え、④事業計画、⑤事業計画の作成、⑥事業計画の発表

#### ◆起業時に押さえておきたい財務・会計講座

- 目的 起業時に必ず必要となる財務管理の基礎知識や、計算手法を学ぶ。又起業時の資金調達に役立つ、融資を受けやすい創業計画書の作成方法、起業の仕方や手続き、公的支援制度を学ぶ。
- 実施概要 6回の座学・演習等を平成26年8月23日～11月6日の期間で実施。
- テーマ ①財務管理の基礎、②事業計画策定の基本1、③事業計画策定の基本2、④起業前の基礎知識、⑤事業計画の作成、⑥事業計画の発表

#### ◆悩める起業家のための事業拡大講座

- 目的 現状分析と目標達成に向けた考え方や成果を出すための仕事の取り組み方を学ぶ。経営ビジョン・理念の明確化、SWOT分析で現状を分析し、現状打破に向けた今後の中長期計画を立てる。
  - 実施概要 6回の座学・グループワーク等を行い、平成26年10月14日～平成26年12月16日の期間で実施。
  - テーマ ①現状の課題の発見、②直面する課題と対策、③現状分析方法、④夢をかなえる中長期計画の考え方、⑤夢をかなえる中長期計画の作成、⑥事業計画の発表
- \*3つの講座をトータルで設計し提案したことから、シリーズで受講するケースが目立った。2講座連続受講者が20名、3講座連続は5名受講した。

### <農業支援講座>

#### ◆新規就農希望者のための農業体験講座

- 目的 東三河で若手農業者育成に励む農業経営者7名を講師として、農業生産者ではなく農業経営者になるためのノウハウを座学と実習を通して、成功例・失敗例等の体験談から学ぶ。
- 実施概要 7回の座学・実習等を平成26年8月30日～11月22日の期間で実施。
- テーマ ①農業で起業するには、②農業経営者とは、③農業実習1「大葉」、④農業実習2「小松菜・ほうれん草」、⑤農業実習3「トマト」、⑥農業実習4「いちご」、⑦事業計画の発表

#### ◆6次産業化実践講座

- 目的 顧客目線を意識した商品開発の手法や売するためのノウハウをワークショップを通じて学ぶ。
- 実施概要 5回の座学・ワークショップ等を平成26年10月15日～12月10日の期間で実施。
- テーマ ①マーケティング・豊橋とゼリー、ポン菓子、②競合の整理とターゲティング、③ネーミング実習・パッケージング、④販売計画実習、⑤販売計画の発表



## 【東三河地域活性化意見交換会の実施】

### ◆ミライカフェほの国2015高校生による東三河地域活性化意見交換会

- 平成26年12月13日 会場：名豊ビル 8階 ホールD
- 参加高校生21名：豊橋工業5名、豊橋商業3名、渥美農業5名、新城東高校作手校舎5名、豊川工業5名
- コーディネーター：榑うちうら 代表取締役 内浦有美氏、同補助：鶴飼智恵美氏
- 3グループに分かれて「地域の課題を見つけよう」「地域の課題を解決しよう」をコーディネーターのもと発表し、意見を交換。午後には、豊橋商業高校が「ほとし茶お」（抹茶と鶏卵を使った缶パン）、渥美農業高校が4番茶を使った「茶パン」の商品化について発表。

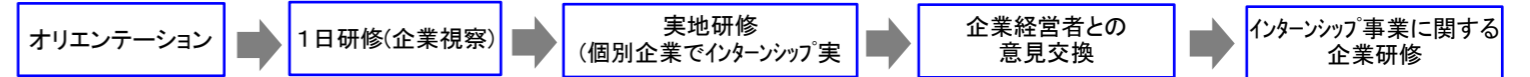
### ◆ミライカフェほの国2015大学生による東三河地域活性化意見交換会

- 平成27年1月16日 会場：名豊ビル新館4階 4A会議室
- 参加大学生19名：愛知工科大2名、豊橋創造大3名、愛知大11名、豊橋技術科学大1名、大同大1名、星棧大1名
- コーディネーター：地域ビジネス研究所 中野和久氏、アドバイザー：豊橋創造大学 准教授 花岡幹明氏
- 参加学生が、日頃東三河について感じている「こんなことが課題!」「こんな風に解決できたら!」「自分ができること」について発表。公共交通の不便さ、買い物したい店が少ない、食事したい店が少ない、東三河は知名度が低い等の問題点を指摘。自分ができることから発展させて、大学生連携で改善できることの見聞も出された。



## 【長期的インターンシップ】

### ◆インターンシッププログラムの特徴



### ◆オリエンテーション（延べ6名参加）

- 8月4日 事務説明後、道田智子氏によるインターンシップに臨むための講演。参加学生3名
- 8月5日 事務説明後、道田智子氏によるインターンシップに臨むための講演。参加学生3名

### ◆1日研修（延べ20名参加）

- 8月4日 榑エコム→日本ジューズターミナル(株)→武蔵精密工業(株) 参加学生8名
  - 8月5日 オエジ(株)→天狗缶詰(株)→新東工業(株) 参加学生6名
  - 9月12日 \*香月堂(株)→\*イック農芸(有)→日東電工(株) 参加学生6名
- \*印は本年度新たに1日研修を実施した企業

### ◆実地研修（延べ11名参加）

- 8月8日～9月29日の間の希望日に実施 参加学生数延べ11名
- 実地研修実施企業8社：(株)イックログロッキング、\*榑東愛知新聞社、\*中日本(株)、齋藤製菓(株)、\*榑カネ流通センター、\*(有)鈴木敏商店、\*株ユーボン、NPO法人穂の国森づくりの会 (\*印は、本年度新たに実地研修を実施した企業)

### ◆企業経営者との意見交換会（延べ34名参加）

- 9月13日 (大学生3名、専門学校生1名、高校生4名)
- 第1回講座：豊橋信用金庫 人事部課長 鈴木宏之氏
- 第2回講座：榑メガネ流通センター 代表取締役社長 神谷馨氏
- 9月20日 (大学生5名、専門学校生1名、高校生3名)
- 第3回講座：(有)環境テクニス 代表取締役社長 高橋慶氏
- 第4回講座：榑東愛知新聞社 代表取締役社長 藤村正仁氏

### ◆インターンシップ事業に関する企業研修（参加企業10社、11名）

- 11月20日 講師：道田智子氏
- 学生と企業がWIN-WINの関係になるインターンシップについて、企業側の固定観念を取り除いたアイデア出しと、実施に向けてのプログラムの設定方法を学習。インターンシップは企業と学生の間のコミュニケーションの手段であること、学生を受け入れることにより企業の問題点が発見されること等の認識を高めた。



## 【参加者数等】

講座名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	延べ人数
就職応援セミナー	8	9	7	11	11	7	—	53
起業スタートアップ講座	18	12	13	9	7	8	—	67
財務・会計基礎講座	20	30	27	22	15	12	—	126
事業拡大講座	12	11	13	8	12	9	—	65
新規就農講座	16	15	10	13	14	11	11	90
6次産業化実践講座	23	20	21	16	20	—	—	100
計								501

・講座の1回当たりの参加者数は14名で、特に財務会計・6次産業化講座の応募者が多く、関心が高い。  
 ・昨年度に比べ周知期間を長く取り、実習を好感度の施設園芸野菜栽培に絞ったこと等により、農業体験講座への参加者も確保できた。  
 ・成果として、就職支援講座で6名の内定者を得え、又各講座合計で14件のビジネスプランコンテストへの応募を実現でき、内3件が1次審査を通過した。

概ね250社近い企業を訪問し、実際に1日研修の受入に応諾した企業は19社で、うち昨年度事業になく、本事業で新たに受諾した企業は6社であった。実地研修受入に応諾した企業は39社であり、昨年度事業になく、本年度で新たに受諾した企業は24社に達する等、インターンシップに対する企業の関心度が高まってきている。  
 ○1日研修受入企業 16社(新規受諾企業数 9社)  
 ○実地研修受入企業 39社(新規受諾企業数 24社)

## 【地域資源を活用した起業支援】

- 本事業を通じて認識された課題の改善方向等は以下の通り。
- より現実的な事業計画策定に繋げるための更なるプログラムの改善と支援内容の充実化
  - セミナー・講座終了後の実際の起業・事業化に繋げる支援制度の充実化とプログラム間の連携強化。
  - 異なる分野に興味や技術を持つ企業・人材の交流機会の創出促進。
  - 産業界、産業支援機関、自治体、大学等研究機関が持つ人材育成プログラムとの連携、ノウハウの共有化。

## 【長期的インターンシップ】

- 本事業を通じて認識された課題の改善方向等は以下の通りである。
- 地域コーディネーターの育成方法として、「東三河地域の実態把握」「企業訪問による地域企業の認識度向上」「大学・大学生との接触による新たな価値観の認知」「実務を通じた人脈づくり」という形態によってある程度育成されることが明らかになった。しかし、こうした人材の受け皿確保は難しいため、地域ぐるみで対応策の検討が必要。
  - 企業側の大学生採用意欲が高まることでインターンシップへの関心も高揚しているため、企業の明確な効果を出せるようなプログラムづくりが必要。
  - 就活環境の変化により、インターンシップ参加時期も夏型から冬・春型へのシフトが出てきているため、経済界・大学連携で夏、冬・春型の事業展開が必要。

委託元：愛知県東三河総局 委託先：地域の持続的な発展基盤支援活動共同企

地域  
た  
起  
資  
業  
源  
支  
援  
活  
用  
  
イ  
長  
期  
的  
イ  
ン  
タ  
ー  
ン  
シ  
ッ  
プ